

# パフパフ・モフモフ 八甲田山スキー

T野

2024年1月6日～8

メンバー： T野・I崎・K井・Y科・T村m・T村e・A原・T中m・T山・S木・A岡・E居



今年はとにかく雪が少ない。年末年始も暖かく待望の寒波は来なかった。12月下旬のクリスマス前後にまとまった積雪があったが、そのあとは積雪が減るばかりで、我々、山スキー好きの面々はまさに断腸の思いで毎日天気予報とにらめっこしているのである。ただ、今回は1/7-8には、少しまとまった雪が降りそうだ。もう、オオカミ少年はゴメンだ！！何しろ、豪雪で知られる八甲田スキー場の積雪が1/5 現在、何と130cm！！例年の半分もない。ホント淋しい限りなのだ。1/7-8には、つつい本格的な積雪を期待してしまう。でも、期待しているとあっさり裏切られることが多いので、ここは、心の奥底で念じるのみに留めておくことにしよう。ということで、報告です。

■写真上 ロープウェイ山頂はホワイトアウト。

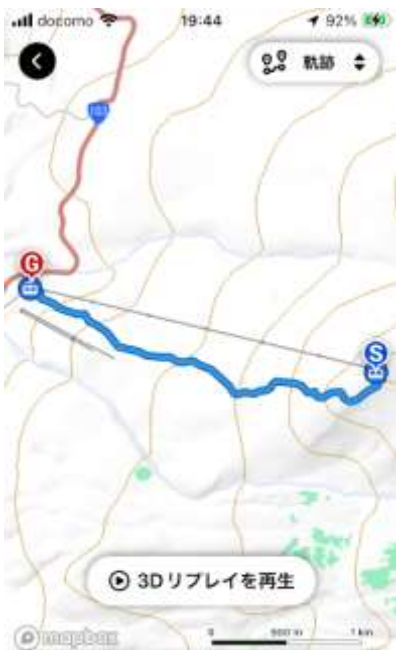
■写真下 ゲレンデ脇の森を滑る。

1/6

今回は往復の交通機関は各自考えてもらい、現地集合、現地

解散である。1/6のAM8:00に弘前駅に全員集合！！お金や時間に余裕のあるメンバーは前日に弘前入りして体の負担を少しでも減らす。一方、僕は・・・？というと、金銭的・時間的な理由により夜行高速バスをチョイス。さすがに、還暦も過ぎているので4列シートのバスはシンドイので、3列シートのデラックスバスを予約した。

1/5の22:20、バスタ新宿を順調に出発。バスの中でよく眠れるようにと、缶ビールを抱えて乗車すると「バスには禁酒・禁煙です。」とスタッフの方から言われる。「最近はそのようなものなのか・・・？」バスの中はおしゃべりする人も皆無でシーンと静まり返っている。ホホウ「最近はそのようなものなのか・・・？」夜行バスに乗ったのは30年ぶりくらいだが、以前は、日付変更線を越えるころまではもっと華やいだ雰囲気でもあったような気がする。



るのだが……。でも、おかげさまで思ったより快適に眠ることができ、3列シートなら夜行バスもありだなあー、と思った。

バスは予定通り、7:40に弘前駅に到着。同じバスに乗りしていたmさんはバスを降車するなり「もう、夜行バスはないなー」とつぶやいていたので、感想は人それぞれなのだろう。mさん自身も話していたが、以前は夜行バスが普通だったが、最近は新幹線を惜しげもなく使っているからそれに慣れてしまったということだ。これは、子供が小さい頃、普通に「スシロウ」の寿司を食べ慣れていて僕が、子供が独立して多少余裕ができたので「銚子丸」で寿司を食べていたら「スシロウ」の寿司には戻れなくなったのと似ている。戻りたければ、金銭的に「銚子丸」では寿司を喰うのが厳しい状態になればよいのであるが、それは、あまり嬉しいことではない。

さて、8:05到着の夜行バスで来るメンバーや、前夜現地入りのメンバー、もともと現地のメンバーも順調に合流成



功！！弘前の街は雪もほとんどなく、気温も東京とさほど変わらず暖かい。「せっかくここまで来て、また雪不足か！！」と一抹の不安が襲う。しかし、ここまで来て、今更いろいろ考えてもどうにもならないので、予約していたレンタカーに乗り込み一路、八甲田を目指す。まずは「すき家」に入って朝食。一度食べてみたかった「炭火焼ほろほろチキンカレー」を迷わずチョイス。朝から栄養満点だ。

今日から2泊お世話になる深沢温泉が近づくにつれ雪は現れ、少ないものの何とか楽しめそうな積雪があるのはさすが八甲田で最悪の事態は免れそうだ。

■写真上 **ダイレクトコースの軌跡。**

■写真中 **前嶽北面の妖精と。**

■写真下 **快適なブナ林の滑降。**



深沢温泉には確か11時前には着いた。ただ、今日は初日なので忙しい。送ってあった荷物を早速ほどき、山スキーに必要な装備をパッキング



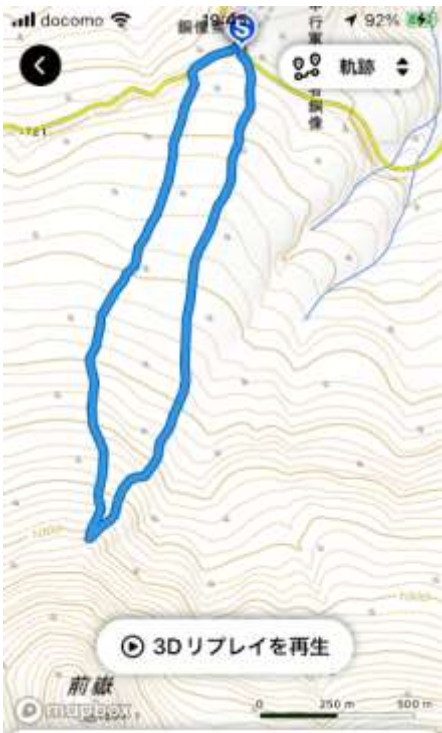
して12時前には出発。初日なので少し楽をして、ロープウェイを利用して、銅像コースを滑ることにする。12:15のロープウェイで山頂駅まで苦も無く登るが、山頂駅付近は真っ白けっけのホワイトアウト。ヤママップもあるし何とか降りようと考えてもみたが、初見でこの視界ではさすがに自信がない。しばらく付近をウロウロしながら考えたが結局、おとなしくゲレンデを降りることにしてダイレクトコースに入る。さすがにゲレンデにはポールが小まめにコースを誘導してくれて迷う心配はないが、上部は酔いそうなホワイトアウトでただ降りるのみであまり楽しくない。それでも標高を落とし森の中に入ると地形が分かるようになり、コースを外れて森に入れば楽しく滑れるようになる。雪は多くないが浅く新雪が積もりプチパウも楽しめた。

■写真上 快適・快適！！

■写真中 ヒューヒュー！！

■写真下 至極の時間！！

麓に下りた後、宿の戻るメンバーと、滑り足りないのもう1本滑るメンバーに分かれる。僕はもちろん滑る方。森の中が楽しかったので、銅像茶屋から時間を決めて前嶽に向けて登り、北面を滑ることにして残ったメンバー7名で14:15に出発。約1時間で1005m付近まで登り滑降！！標高差300mほどだったが最高のパウダーをいただく。久しぶりの浮遊感！！残って良



かった！！

宿に戻れば温泉と楽しい宴会はいつものこと。深沢温泉の大広間は大勢で楽しむにはなかなか良い。

■コースタイム

ロープウェイ山頂（12:50）～ダイレクトコース～

（13:30）麓の駐車場

銅像茶屋（14:15）～（15:10）1005m付近（15:25）～

（15:48）銅像茶屋

1/7

昨日から良い感じで雪が降っている。天気は悪いので今日も森の中で楽しもう、ということで雛岳に向かう。7:00に宿を出発。すぐにゲートがあり開くのが7:30ということ。焦って出発しなくても良かった。10分ほど待ってゲートが開いたので、しばらく走るとドライブインのような場所があってそこに車を停める。すでにトレースが付いていたので楽をさせてもらってそのトレースを

追う。しばらくほとんど傾斜のない森を歩くが、やがて傾斜が出てきて素晴らしいブナ林になる。これは帰りが楽しみだ！！

■写真上 1/6 の前嶽北面軌跡。

■写真中 雛岳登山口は雪模様。

■写真下 快適なブナの疎林。



天気が悪いので、じっとしていると寒く、落ち着いて休めないでほとんど休憩を取らずにゆっくり登る。標高900m付近まで登ると、ブッシュが濃くなるので西寄りの斜面を登って行く。ここは風で雪が叩かれていて、登るにはもぐらなくて都合が良いのだが、滑るとなるとあまり快適ではなさそうだ。この辺りで地元のパーティーと会ったので、ルートについて聞いたところ雛岳は東斜面に良いところがあるらしい。視界がないので不安はあるが東斜面を目指すことにして登ってゆくと徐々に樹林がなくなりオープンスロープが広がってくる。もう少し視界が悪くなればお手上げだがこのくらいで済めば何とかなる。東斜



面を教えてくれた地元のメンバーは稜線に上がったところで滑降の準備をしている。山頂まであと少しなので我々は山頂を目指して稜線を歩くが、視界が悪くなるのも怖い。すぐそばにあるピークが山頂ならそれでよし、そうでなくても、そこで引き返すことにして登ってみると、果たして、そこは山頂ではなかった。

1221m付近、山頂まで残すことあと20mという場所であった。

まあ、決めていたので未練はなかった。それより視界がこれ以上悪くなる方が怖い。ここで滑降の準備をするが、T村eさんとA岡さんのビンディングが凍り付いてしまったのかセットするのに時間がかかる。その時、気温は特別低いわけではないのに、僕はグローブの中に雪が入ってしまったからか、手先が大いに凍える。

■写真上 超快適！！

■写真中 天気は悪いけど滑りは最高！！

■写真下 滑ってきた雛岳バックに！！



今回、気づいたことだが、気温が中途半端に高い（ $-5^{\circ}\text{C}$ 前後）と、雪が体温で解けて手袋が濡れてしまうと非常に冷たい。一方、思い切り寒いと（ $-10^{\circ}\text{C}$ 前後）雪が解けずに手袋が乾いていてあまり寒さを感じない。つまり、一概に気温が低ければ低いほど冷たいというわけではないようだ。まあ、手袋をしっかり管理して濡らさなければそういうことはないので、今後は

手袋の中に雪が入らないように気をつけようと思う。



さて、準備を整え、東斜面を滑り始めたがこれが素晴らしかった！！雪質・斜面ともに申し分なし！！上部はオープンバーン、森に入るとブナの疎林、ずっと快適で雄たけびモード全開で滑って行き、つい東に寄り過ぎて、気がつくとき深い沢に阻まれて登ったルートには戻れなくなってしまった。しかし、気にすることはない。降りていけば必ず道路に出るのが雛岳である。危険を冒して沢を横断して登ったルートに戻るよりそのまま降りてしまう方が楽だし安全だ。結局、田代橋の畔に滑り降りて、車をデポしたドライブインまで車道歩きも5分程度であった。

雛岳は思った通り、多少の悪天でも快適に滑れる斜面が多く、実に楽しかった！！結構、癖になりそうな山である。こういう山、もう少し近いところに欲しいなあー。

さて、宿に戻れば温泉入っていつもの宴会、12人もメンバーがいると様々な酒を利き酒できてついつい飲み過ぎてしまう。気を付けねば・・・。



#### ■コースタイム

ドライブイン (8:00) ~  
(10:35) 1221m付近 (11:05)  
~ (12:10) ドライブイン

■写真上 雛岳軌跡。

■写真中 最終日、吹雪の銅像茶屋。

■写真下 3日間でだいぶ積もった。

1/8

引き続き雪が深々と降っている。昨日のお絵かきはきれいにリセットされていることだろう。宿付近の風景が1/6に来た時と別の場所に見える。喜ばしいことであるが、これで、遠路、青森まで来て全く山を見ることなく帰ることになりそうだ。ただ、そんなことよりも気持ちの良いパウダーを滑ることの方が大事だということは間違いないのであるが・・・。

今日は昼くらいには宿に戻ってきたいので、天候と条件を考えた結果、銅像茶屋から前嶽北面を登り、山頂から東面を滑ることにして7:25 銅像茶屋を出





発。断続的に雪が降り気温も昨日より低く、漸く八甲田にも冬将軍が来たようだ。思った通り昨日のトレースは見事に消えている。交代でラッセルしながら登る。モフモフの雪が気持ちいい！！昨日同様、天気が悪いのでゆっくり休めないなので、ペースを落として休まずに登る。

最初は傾斜がほとんどない森、そして適度な傾斜の快適なブナの疎林、標高 1000m を越える辺りからオープンスロープとなる。視界が悪いので斜面が分かりにくい。標高 1190m 付近で 9:40、1251m の前嶽山頂までは充分届きそうな時間だが、万が一ホワイトアウトになると下山に時間がかかりそうだ。その場合トレースのない東面を滑降するのはやや不安だ。そして、今日は帰京しなければならぬので万が一は許されない。ここからなら確実に快適に戻れる。考慮の結果、ここから北面を滑ることにする。準備して 10:00 滑降開始！！最初のオープン、ムチャ気持ちいい！！200m 位落とすとブナの疎林、昨日より雪が深く、滑りが悪いがそれでも気持ちいい！！そして最後の緩斜面は登りのトレースを利用してボブスレー！！これはこれで楽しい！！約 30 分の快樂で 10:30 には下山。早く降りてきたのでのんびり温泉に入って、荷造りも余裕をもって完了。焦ることなく順調に帰京した。

■写真上 吹雪の行進。

■写真中 氷雪の森！！

■写真下 神秘的だ！！

ところで、今日は昨日よりもかなり気温が低かったが、手先は冷たくなかった。気温が



低いがために、雪が解けず、その結果、グローブも濡れなかったというのが理由だと思われる。写真を撮るたびにグローブを脱ぐので、気をつけていないとグローブの中に雪が入ってしまう。気温が低ければ、手で払うことで雪は落ちるが、気温が高く汗をかいていると、グローブの中に入った雪がそのまま凍り付いてしまい、撮影後グローブをはめるとじわじわ解けだし、ますますグローブが湿って再びそれが凍って冷たく感じるのだ。特に厳冬期の山で写真をまめにとる



人は、気温が高くてても（-5℃前後）グローブの管理を怠らないように気をつけよう。

今回、3日間ずっと天気は悪かったが、滑りは最高！！八甲田の良さを実感した。もし晴れば大岳・硫黄岳・小岳、さらに山越えも楽しめるので、晴れても雪でも楽しめるエリアだ。これは癖になりそうだ。ただ、ちょっと遠いのが難点だが・・・。

また、計画するので、その時は皆さん、また一緒にしましょう！！

#### ■コースタイム

銅像茶屋（7:25）～（9:40）1190m付近（10:00）～（10:30）銅像茶屋

■写真上 1190m付近で滑降開始！！

■写真下 1/8、前嶽北面の軌跡。